

森・緑の育成活動

二村山豊かな里山づくりの会

二村山緑地里山保全整備事業 ～生物でにぎわう里山をめざして～

豊明市内に残る自然の緑地二村山を生き物のにぎわいのある里山にするため、常緑樹の間引き、落葉かき、竹の除去などの雑木林保全活動や、草刈による湿地植生の維持活動を行いました。



「ツツジやスミレが咲く里山」を目標に生物多様性に富む植生の復元をめざして活動しています。これは市民が散策を楽しめる二村山緑地の資源を守ることでもあります。

会長 浅野 守彦さん

わずかに残った自然を子どもたちの世代に残す事の重要さを多くの人に知ってもらいたいと思います。

参加した方の声

水と緑の恵み体感

NEXPO（長久手・万博継承会）

杵ヶ池プロジェクト

長久手市の杵ヶ池公園において、「子供たちが楽しく遊べ、生物と触れ合える公園」を目標に、杵ヶ池の水質・生物調査、貴重種保全、湿地整備及び樹銘板取付けなどの活動をしています。また、「杵ヶ池かわら版」を四半期毎に発行しています。



活動開始から20年となり市民に広く認知されています。会員の高齢化が進み事業内容の見直しを行って活動してきましたが、事業の継続の為には若い会員の勧誘が課題です。

事務局長 岩淵 準さん

樹銘板取付け事業に参加して、緑とともに暮らしたいと思いました。知らない木について学びました。機会があったらまた参加したいです。

参加した方の声

森林生態系保全の学習

一般社団法人
日本ボーイスカウト愛知連盟

体験で学ぶ森と緑づくり

県内6か所で小学校低学年児童を対象に、森の中で自然のものをを見つけるネイチャーゲームなどの環境学習の実施を通じて、森林保護への意識・森林の効果への関心を高める機会を提供しました。



釘などを一切使わず丸太と縄で組み上げる大型工作物は「見る」だけでなく、「遊ぶ」こともできます。多くの子どもたちに、資源の再利用の可能性に触れてもらいました。

常務理事 組織・拡充委員長
澤 朋宏さん

なかなか知ることのなかった「森」について学ぶことができました。子どもが自然に興味を持てる内容で良かったです。

参加した方の声

太陽・自然の恵み学習

とうえい木の駅実行委員会

とうえい木の駅プロジェクト 木育事業

親子を対象に、間伐後の林地残材の搬出体験及び薪やウッドチップづくりを始めとした利用体験などの環境学習講座を実施することで、森林の大切さを学んでもらいました。



親子を対象とした森林体験活動を通じて、自然の恵みに感謝し森林環境保全の大切さを伝える活動を、今後も続けていきたいと思ひます。

委員長 佐々木 経人さん

普段体験できないことができ、木を運ぶ作業がこんなに楽しいとは思ひませんでした。

参加した方の声

独自提案による環境保全活動・環境学習

あいちコウモリ調査隊

県民参加によるコウモリ類分布調査プロジェクト

あいち海上の森センターや豊田市自然観察の森などにおいて、コウモリ勉強会及び観察会を開催しました。また、知多半島及び渥美半島でキクガシラコウモリの生息を確認するための重点調査を実施しました。



コウモリという分からないことだらけの生き物を対象に、隊員の力を合わせて調査を進めています。新しいことが分かったときの感動は格別です。

代表 立脇 隆文 さん

コウモリは一晩にたくさんの虫を食べることを学びました。全ての生き物が他の生き物と密接に関わり、バランスが保たれていることを知りました。

参加した方の声



特定非営利活動法人 ごんのふるさとネットワーク

童話の森で。プロジェクト

半田市の「童話の森」で、間伐材を活用したワークショップや草刈り・枝払い・清掃などの環境整備活動を実施しました。参加者とともに、持続可能な里山保全と森の魅力発信に取り組んでいます。



新美南吉作品の舞台となった里山を、地域の皆さんと共に未来へつなぐ活動です。環境保全を通じて、自然や地域への愛着を育む取組を今後も継続していきます。

事務局 榊原 亜矢 さん

植物や森の循環について、理解が深まりました。世代を超えて活動ができ、これからも童話の森を大切に守っていきたいと思いました。

参加した方の声



生態系ネットワーク形成

西三河生態系ネットワーク協議会

西三河地域における生態系ネットワーク形成

豊田市から借り受けた緑地「愛三豊田の森」で森づくりを継続するとともに、愛三工業豊田工場内のビオトープなどの維持向上に向けて、生態系のモニタリング調査を行いました。



モニタリング調査で得た知見を森づくりやビオトープの維持向上に活かし、地域の生物多様性の保全に貢献していきます。

愛三工業株式会社
カーボンニュートラル推進部
戦略企画室 小林 翔英さん

地域の自然とのつながりや、生き物の大切さを改めて感じました。これをきっかけに、今後も生き物と調和した環境を大切にしながら、保全活動に取り組んでいきたいです。

参加した方の声



東三河生態系ネットワーク協議会

放棄雑木林整備により多様な生態系を創出する事業

植生の過密化及び荒廃が進んでいた里山林において、森林生態系の健全化などを目的に間伐を実施することで、林内の日照確保と風通しの改善を行いました。また、伐採材については、生き物の生育空間となるよう活用しました。



危険木伐採による防災機能強化や日照改善による生物多様性保全など、森林の多面的機能の向上と豊かな生態系を維持するための基盤が整えられたと思います。

会長 瀧崎 吉伸さん

長年暗かった森が活動を通してパッと明るくなったのが印象的でした。多様な生き物が集まる拠点へ育っていくのが楽しみです。

参加した方の声

